

市民農園の質問箱に対する回答

市民生活部農業振興課

農園名	☐ 北中沢 ☒ 東道野辺 ☐ 西佐津間
氏 名	
質問日	令和 5 年 6 月 6 日
質問内容	4月にカブを栽培していました。まいた種はほとんど発芽しましたが芽がほとんど虫に食われたような状態になりました。どのように対処すればよかったでしょうか？特にネットをかけたり農薬をまいたりしませんでした。
回答者	☒ 鎌ヶ谷市農業士等協会 ☐ 東葛飾農業事務所 改良普及課 ☒ 鎌ヶ谷市農業振興課
回答日	令和 5 年 6 月 21 日
質問区分	害虫
回答内容	カブは病害虫の被害にあいやすいため、何らかの防除が必要です。せっかく市民農園でご自身で育てるのですから、無農薬で育てたいところです。 無農薬で虫の害を防ぐには、タネをまいた直後に寒冷紗のような目の細かい網や不織布でトンネルまたはべた掛けするのが安心です。 べた掛けしたときは、成長に合わせて時々開けて間引きするなどの手入れをし、ネットのかけ方を調整してください。また、べた掛けにカブの葉が接していると、そこから虫が卵を産み付けるため、中に虫がいないかもこまめにチェックしてください。 3月は遅霜の心配もありますので、寒冷紗の上からビニールをしておくとう安心です。気温が上がってきたら、ビニールは開けたり外したりして蒸れないようにします。 種まきの1週間ほど前に窒素りん酸カリのバランスの良い肥料をすきこみ、なじませてから種まきすると、肥料成分が使いやすい形になっているので、カブの育ちが良くなります。春のカブは早く育ち柔らかいので、採れたてを生で食べたいものです。 秋冬に育てる場合も、種まきの直後にネットで防ぐとよいでしょう。